

令和4年10月20日に開催した「（仮称）勝島人道橋整備事業説明会」において頂いた主なご質問と区のお考え方について、お知らせいたします。

ご質問の内容	ご質問に対する区のお考え方
工事費はどのくらいになるのか参考までに教えてほしい。	設計中のため概算となるが、概ね20億円前後と考えている。
補助額が4割だとすると残りの12億円を区が負担するのか。	基本的には区の単独費用となる。しかし、なるべく多くの補助金を充て、区の負担を少なくするため、関係機関と協議を行っている。
ルート3のほうが利便性に優れているのではないかと。経済性・施工性が悪い理由は。検討評価について、具体的な説明化が欲しい。記号だけの評価ではなく、重み付けをして点数で比較すべきではないか。	勝島地区にお住まいの方が立会川駅に行く目的では、ルート3が最短となるが、今回の橋は、水辺周辺の回遊路の確保や賑わいの創出が主な目的である。よって、利便性だけではなく、回遊性、経済性、施工性および維持管理性など総合的に判断している。 重み付けでの点数評価や具体的な説明等も踏まえて次回の説明会で報告する。ただし、利便性だけではなく総合的に判断するという考えは変わらない。 【ルート3について】 ・橋が長くなり、工事費が増大する。 ・水域を利用している方がおり、施工ヤードの確保が困難。
ルート2の場合、佐川急便(株)側に抜ける道路がないと効果がないのではないかと。	水辺の回遊性の観点から、様々な方策について検討する。
自転車の乗り入れは可能か。	しながわ花海道水辺広場と同じで乗り入れは禁止の予定である。バリアフリーの観点から自転車の侵入を物理的に防ぐことはできないが、注意喚起や見回り強化などで対策する。ご理解いただきたい。
人道橋の桁下高は鮫洲橋と比べて高いのか？	東京都港湾局との協議により、人道橋の桁下高はA.P.+5.6mとなり、鮫洲橋より高い計画である。
説明会開始時間が18時は早い。せめて19時にすべきである。	今後の説明会の開催時間については、庁内で検討させていただく。
橋梁諸元を示してほしい。橋の長さ50mとあるが振動等の問題はないか。	今回の説明会は、橋の必要性、これまでの経緯を説明するものである。振動等の問題については、今後の詳細設計で検討していくが問題ないと考えている。

<p>幅員4mについて妥当なのか。往来人数はどのくらいを想定しているのか。</p>	<p>一般的な歩道の必要幅員は2mになるが、車いす同士のすれ違いと自転車の押し歩きのすれ違いや、将来の賑わいも想定し、道路法上の最低幅員である4mを採用した。東品川海上公園のアイル小橋、かもめ橋の幅員が約4mであり、適当であると考えている。 (参考) 交通量調査の結果、ピーク時間(8時台)の鮫洲橋・新浜川橋から勝島地区に出入りする歩行者・自転車交通量は2,360人/時で、この全てが人道橋を通行すると仮定した場合の必要幅員は約1.7mとなる。</p>
<p>災害時に護岸上を通ることは問題ないのか。</p>	<p>防潮堤護岸は想定される津波に対して、安全な高さを保つように計画されている。幹線道路に集中する人を分散する効果があると考えている。</p>
<p>まちづくりビジョンと橋梁計画の関連性が理解できない。</p>	<p>まちづくりビジョンの中では、しながわ花海道を活かした回遊路の確保や歩行者等のネットワークの確保といったまちづくりの取組の方向性を示しており、人道橋はその取組に関連するものになる。</p>

以下、主なご意見

<p>教育部門とも連携して計画してほしい。</p>
<p>バランスを考慮すると運河中央付近に位置するルート2がよい。</p>
<p>施工性を考慮するとルート3は困難で実現性が低い。</p>

【問い合わせ先】

- (仮称)勝島人道橋の整備内容について
品川区 防災まちづくり部 道路課 工務係 (担当:白川、林)
TEL 03-5742-6792
FAX 03-5742-6886
- 立会川・勝島地区 まちづくりビジョンについて
品川区 都市環境部 都市計画課 計画調整担当 (担当:泉、宮野)
TEL 03-5742-6760
FAX 03-5742-6889